

韓国青年（高校生）訪日団（オンライン）の記録

1. オンライン交流概要

【目的】韓国の青年が日本の防災の取組みを学ぶとともに、東日本大震災被災地である福島県を訪問し、復興の状況、特産の農水産品及び地域の農業の取組について理解を深め、韓国で対外発信することにより風評被害をなくすことを主目的とする。

【参加者】

韓国の高校生等 73 名

2. 日程

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数実績）
1 回目 3 月 13 日	【オリエンテーション】 【プロジェクト課題説明・意見交換】 「日本の防災対策紹介」 ① 聴講・質疑応答 ② グループ別意見交換・準備	地震防災に関する関心が参加者の母国で高まっていることから、意見交換の場では各自が取り組むプロジェクト課題の具体的内容について活発に意見交換が行われた。（参加者：73 名）
2 回目 4 月 10 日	【テーマ関連講義・意見交換】 「最近の日韓関係についての理解」 講師：外務省 武田克利 日韓交流室長 ① 講義・質疑応答 「福島の風評被害払拭」 講師：JENESYS 事業参加学生（福島県出身） ① 福島の魅力紹介・質疑応答 「東日本大震災被災地視察体験談・復興支援活動」 講師：JENESYS 事業参加学生（韓国人） ① 訪日団での経験を紹介・質疑応答	最近の日韓関係に関する講義では、日韓関係や交流に関し、数多くの質問が出た。日韓の過去 JENESYS 参加者による東日本大震災被災地に関する発表は大変好評で東日本大震災被災地への風評被害払拭に大きくつながった。（参加者：73 名）
3 回目 5 月 8 日 福島県福島市	【テーマ関連視察・講義】 「福島の風評被害払拭」 ① 福島市内視察・質疑応答 （福島県観光物産館及び、JR 福島駅周辺）	オンライン視察で取り上げた福島市内の日常風景や福島の特産品、福島で東日本大震災を経験した韓国出身者によ

	「福島で20年～キムチおばさんとして生きて」 講師：NPO 法人ふくかんねっと 鄭鉉淑（チョン・ヒョンスク）理事長 ① 講義・質疑応答 「東日本大震災被災地視察体験談・復興支援活動」 講師：翰林大学日本学研究所 嚴泰奉（オム・テボン）教授 ① 講義・質疑応答	る農業を中心とした活動に関する講義を通し、福島へのイメージが変化した、SNS 発信を通し風評被害払拭のために積極的に取り組みたいという感想が多くみられた。（参加者：73名）
4 回目 6 月 12 日 長野県飯田市ほか	【ホームステイ候補地域事前視察】 講師：株式会社南信州観光公社 高橋充社長 ① 長野県南信州地域の事前視察 ② 地域の魅力及び、インバウンド受入状況に関する講義・現地関係者との意見交換 【テーマ発表報告】 ① 日本の防災に関する課題プロジェクト発表・意見交換	オフライン時にホームステイを予定している長野県南信州地域への事前視察を実施した。現地関係者との意見交換では参加者の交流への期待の高さがうかがわれた。（参加者：73名）

3. 記録写真

 책장의 고정 및 책장 문의 고정	
2021 年 3 月 13 日【プロジェクト課題説明・質疑応答】「日本の防災対策紹介」	2021 年 4 月 10 日【テーマ関連講義・意見交換】「福島の風評被害払拭」
 후쿠시마 초등학교	
2021 年 4 月 10 日【テーマ関連講義・意見交換】「東日本大震災被災地視察体験談・復興支援活動」	2021 年 5 月 8 日【テーマ関連視察】「福島の風評被害払拭」

	
2021 年 5 月 8 日【テーマ関連講義・意見交換】「福島の間評被害払拭」	2021 年 6 月 12 日【ホームステイ候補地域事前視察】長野県南信州地域訪問

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 学生

日本語や日本文化について、これまでは独学で学んできたが、今回のプログラムを通じて大きな学びを得ることができ、日本への関心の高い同世代の友人と交流することもできて、とても嬉しかった。また、福島に関する新たな情報に接することができ、理解がより深まった。

◆ 韓国 学生

オンラインによるプログラムであったが、視察もあり、講義もあり、日本のことを周囲の人に知らせるというミッションを通じて、そのための調査の過程等で自然と自分自身にとっても様々な大きな学びとなった。特に、外務省の方から直接うかがった日韓関係のお話が興味深かった。

◆ 韓国 学生

日頃は接することができない日本についての情報や、現地の専門家の方々を通じて、多くのことを学べてとても良かった。中でも、日本の防災対策についての学び、そして東日本大震災被災地視察に行ってきた方々によるリアルな体験談が印象に残った。また、いつ発生するかわからない地震をはじめとする様々な災害に対して、我が国はあまりにも無防備ではないかと悟ることができた。日本では家庭の中でも、日常から防災への認識が非常に高く、私たちも見習わなければいけないと思う。今回のプログラムを通じて、オンラインのみならず是非実際に訪日して各地でさらに学びたいと思った。また、日本に関する自分の夢がさらに大きくなった。

5. 受入れ側の感想

◆ 福島県観光物産館関係者

福島では震災・原発事故後も普通に日常を送っており、農水畜産物を育て、普通に食べている。もちろん口にする食材などに対して、放射線検査がきちんと行われている。ぜひ素晴らしい福島に実際に訪れ楽しんでもらいたい。福島県民はおもてなしをすることが大好きなため、皆さんを大歓迎する。今後も韓国の皆さんと共に歩んでいきたいと思う。

◆ 長野県南信州地域関係者

皆さんが熱心に聞き、質問も多くしてくれたのが嬉しかった。来日後のプログラムでは、ぜひ当地の魅力を十分に味わっていただくとともに、ホームステイを通して地域の皆さん

んとも交流していただければと思う。皆さんの来訪を心よりお待ちしております。

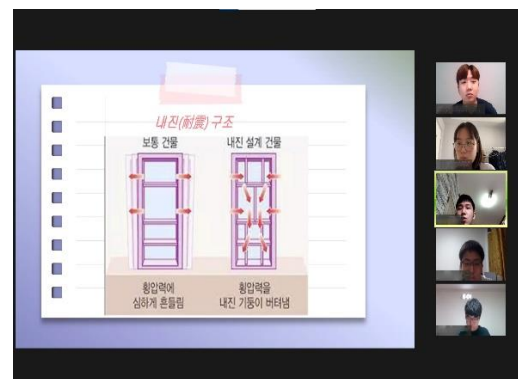
6. 参加者の対外発信

[일본과 한국의 지진비교]-우리나라가 나아가야할 방향 youmin2897 2021. 6. 20. 15:21 URL 복사 +이웃추가 「 한국과 일본의 지진비교 우리나라가 나아가야할 방향 」 일본의 지진대책 그렇다면 이와 같은 지진에 대비하기 위한 일본의 대책을 살펴보겠습니다. 일본은 유치원, 초·중학교, 특별지원학교는 연 1회, 고등학교는 연 4회, 각 도도부현의 교육위원회가 대피 훈련을 교육 과정에 포함시켜 정기적인 안전 지도를 실시하며 회사에서도 실시하는 경우가 있다고 합니다. 또한 일본의 방재물품으로 지진이 일어났을 때의 행동 지침과 주의사항, 필수 아이템 등을 알려주는 방재책자와 지진발생 시 머리를 보호할 수 있는 방재 모자, 전기가 끊기는 것을 대비한 방재식용과 생존기법을 찾을 수 있었습니다. 마지막으로 일본이 지진을 대비하기 위한 내진설계는 건물이 무너지는 것을 대비하여 일본의 건물에 반영되어 있습니다. 내진설계는 지진에 건물을 지탱하는 내진설계에서 나아가 지진충격을 희박할 수 있어 지진대책에 있어서 가장 뛰어나다고 합니다.	[JENESYS2020] 온라인 한국청년일본방일단 - 3(1) 케니 2021. 6. 20. 15:28 URL 복사 +이웃추가 이번에는 조금 설명할 내용들이 있어서, 2편으로 나눠보려고 한다. 후쿠시마내 사찰원과 김치 아주머니의 강연으로. 이번 프로그램이 저번 프로그램과 좀 달랐다. 저번에는 피피티를 이용하여 설명해 주셨다면, 이번 활동에서는 실시간으로 후쿠시마 주변을 보여주시면서, 실제 매장에 가면서 하나하나 설명해 주셨다. 이렇게 후쿠시마 주변 관광물산관에 직접 들어가진 못했지만, 간접적으로 들어가며 알아본 프로그램이었다.
2021 年 6 月 20 日 (ブログ) 「日韓の地震比較－韓国が進むべき方向 日本の地震対策」 地震に備えるため、日本の対策を詳しく見ていこう。日本の幼稚園、小・中学校、特別支援学校では避難訓練を教育課程に組み込んでおり、定期的に安全指導を行っている。会社でも実施していることがあるそうだ。	2021 年 6 月 20 日 (ブログ) 「福島オンライン視察」 前は PPT を用いての説明だったが、今回は福島駅周辺から生中継で様子を見ることができ、福島県観光物産館では売り場で一つ一つ商品に関する説明をしていただいた。 オンライン視察を通し、間接的に福島県観光物産館を訪れ、中の様子を知ることができたプログラムだった。
mara_withme いいね! : janghyiseung68、他 mara_withme 후쿠시마에 대해 자세히 알 수 있었던, 좋은 시간이었습니다. 후쿠시마의 음식, 관광지, 계승 정신이 좀 더 많은 사람에게 알려졌으면 좋겠어요! #한국청년방일단 #한일교류 #JENESYS2020	JENESYS 클레토리포터 제일 기대했던 온라인 프로그램, 외무성 일한교류 실장님과의 만남! 변토리 누나 2021. 6. 20. 18:52 URL 복사 +이웃추가 위 2개의 사진은 재작년에 오프라인으로 직접 시청하셨던 분들께서 따로 KJAF라는 단체를 만들고 한일교류를 위한 프로그램을 진행하고 있어서 소개해 주셨어요!! 시찰 당시의 소감, 방재대책의 중요성 등 피피티를 보여주시면서 소개해 주셨답니다!
2021 年 5 月 1 日 (Instagram) 「福島の魅力の発表」福島について詳しく知ることができ、良い時間だった。福島のお食、観光	2021 年 6 月 20 日 (ブログ) 「東日本大震災被災地視察体験談・復興支援活動」2 年前に東日本大震災被災地を訪問し

地，継承の精神を，少しでも多くの人たちに伝えることができればと思う。

た経験を持つ KJAF（大学生訪日団 OBOG 組織）のメンバーから，日韓交流活動についての紹介があった。視察の感想，防災対策の重要性などを、PPT を通して説明してくれた。

7. オンラインプログラムの成果発表



「防災」に関する課題プロジェクトに取り組んだ内容の成果発表を全員が行った。プロジェクトを通してテーマに関する理解を深めた参加者たちからは，訪日の際に施設見学や体験を通しさらに理解を深めたいという意見が多く出された。主なテーマ例：「地震発生時の正しい行動」「災害時に備えて準備すべき非常持出袋の中身」、「日本の建築は耐震から免振へ」、「日韓防災グッズの比較」、「日韓地震速報の違いー実際のニュースを比較して」等。

事業実施団体：公益財団法人 日韓文化交流基金